

## 令和7年度事業計画及び事業費

### 1 環境保全に関する交流推進事業

【 2,050 千円 】

#### (1) 北東アジア地域自治体連合環境分科委員会の推進 1,500 千円

富山県は北東アジア地域自治体連合（NEAR）環境分科委員会のコーディネート自治体（任期：2年間）を務めている。NPECは北東アジア地域の各国・地域における環境保全の相互対話及び交流の促進を目的として、富山県からその事務局業務を受託し、会議開催等の環境分科委員会の活動を推進する。

##### 【会議の概要】

開催時期：令和7年11月頃

開催方法：オンライン形式

内容：次期コーディネート自治体の選出、個別プロジェクト実施状況の報告、次年度の個別プロジェクトの提案、先進的な環境施策に関する情報交換

#### (2) 海洋環境保全パートナーシップの形成 550 千円

NPECが環日本海地域等における国際環境協力の中核拠点となることを目指して、視察・研修の実施及び会議等への出席を通じ、「産」、「学」、「官」それぞれの分野の機関、団体の専門家等とのパートナーシップの形成を図る。

- ・ 関係国・自治体・団体の視察・研修
- ・ 関係会議・学会への出席・参加

### 2 環境保全に関する調査研究事業

【 6,940 千円 】

#### (1) 漂着物の発生抑制に関する調査・啓発事業 3,212 千円

北東アジア地域の海を共有する自治体、市民等が、漂着物等の実態把握、国際環境協力の推進、市民の漂着物等に係る意識の向上、関係者による対策の連携強化などを図るとともに、漂着物等の発生抑制に寄与することを促すため、富山県から業務を受託し、次の事業を実施する。

##### ① 海辺の漂着物調査

市民の参加を得て、漂着ごみ（マイクロプラスチックを含む。）の種類、数量等を調査する。

##### ② 漂着物アート制作

市民に漂着ごみの発生抑制対策の実践を働きかけるため、漂着物を利用したアート作品の制作・展示を実施する。

#### ㊦ (2) 漂着プラごみの発生源調査事業 500 千円（鹿児島大学〔共同研究〕）

漂着ごみ発生源を推定する手法を開発し、現状の把握、市民活動等の効果的実施に向けた検討等に活用するため、空中ドローン、ウェブカメラ等で、ごみが漂着する海岸を広域的、連続的に撮影し、AIを用いてごみ体積の推計を行う。また、ごみの発生源に関する時空間的情報を得るため、漂着したペットボトルを収集し、生産場所、生産時期等の情報をデータベース化するとともに、紫外線劣化を測定し、漂流時間を推計する。なお、この技術開発は鹿児島大学等と連携して行う。

#### (3) 観察会を通じた市民参加型生物情報収集システムの検討事業 138 千円（船の科学館）

県民に海洋環境・生物多様性の保全に関する意識啓発を図り、海の学びを促進するとともに、水生生物の分布等に関する長期的なデータを蓄積し、様々な研究等への活用を図るため、令和6年度に制作した

市民参加型生物情報システムを活用し、富山湾海岸いきもの観察会を実施するとともに、リーフレットを作成し、システムの普及を図る。

**新** (4) SDGs14. 1. 1a 地域指標開発事業 3,090 千円 (JAXA [共同研究])

SDGs目標14「海の豊かさを守ろう」の個別ターゲットである沿岸富栄養化の削減効果の定量的な評価に貢献するため、JAXAの海色センサSGLIとNOWPAP富栄養化評価ツールを用いて、NOWPAP海域を対象にSDGs14. 1. 1a(沿岸富栄養化指数)の達成度をモニタリングするツールを開発する。

### 3 環境保全に関する施策支援事業

【 4,825 千円 】

(1) 広報・普及啓発 1,225 千円

海洋環境保全意識のより一層の醸成を図るため、次の事業を実施する。

① ウェブページによる情報発信

ウェブページの内容の充実努め、NPECの活動状況、各種の環境情報等の発信を行う。また、情報発信に必要な通信環境の維持管理、セキュリティ向上等を図る。

② 国際環境協力の連携・発信

メルマガ、出前講座及び環境サポーター団体等が実施する環境活動との連携等を通じて、豊かな海づくりにつながる国際環境協力の事業を市民に発信する。

**新** (2) 中国遼寧省とのプラスチック製品の使用削減、リサイクル推進協力事業 2,100 千円

富山県では、令和6年の友好県省締結40周年を機に、中国遼寧省と覚書を締結し“環境分野での交流協力をさらに深化、また開拓する”とされたため、中国遼寧省との間で、プラスチック製品の使用削減、リサイクル推進の協力事業の実施に向けて準備を進めている。NPECでは、北東アジア地域の各国・地域が共同して環境保全施策を実施していくことを支援するため、富山県から業務を受託し、遼寧省の環境行政職員向けに富山県の取組みに関する研修会の開催等を行う。

(3) 北東アジア地域生物季節調査推進事業

北東アジア地域における脱炭素社会への移行に係る意識醸成を図るため、気候変動の影響を身近に感じることができる「生物の季節変化」(サクラの開花、トンボの初見等)に注目し、富山県と連携して、北東アジア地域の各自治体での調査及び学習会の実施を促進する。

(4) 北東アジア地域青少年環境サミット開催事業 1,500 千円

持続可能な社会づくりに向けてグローバルな視点で地域の環境保全に取り組む人材の育成を図ることを目的として、富山県から業務を受託し、北東アジア地域の青少年を対象に、環境問題に関する講演や活動発表、意見交換等を通じて相互の友好と理解を促進するための環境サミットを開催する。

実施時期：令和7年8月

実施方法：オンライン形式

内容：環境問題に関する講演、環境保全活動の発表、環境宣言文の発表 他

(5) 北東アジア地域環境ポスター展推進事業

北東アジア地域における市民の環境保全意識を一層高めるため、北東アジア地域の各自治体が子供たちから「環境の保全」をテーマとしたポスターを募集し、優秀作品を一堂に展示する。

展示時期：令和7年6月

展示場所：韓国慶尚南道内(予定)

内容：北東アジア地域の自治体による環境ポスターの募集及び展示会の開催

## (6) 国際環境協カインターン・ボランティアプログラム

将来の国際環境協力分野における人材を育成するとともに、大学等の研究機関との連携の強化、北東アジア地域の海洋環境保全に関する取組みへの理解の促進を図るため、インターンシップ実習生、ボランティアの受入れを行う。

## 4 NOWPAP 推進事業

【 35,699 千円 】

(うち富山県16,000千円、環境省19,699千円)

日本、中国、韓国及びロシアは北西太平洋地域海行動計画 (NOWPAP) に基づき、日本海及び黄海の海洋環境保全のための事業に取り組んでいる。この事業活動の拠点として、各国に地域活動センター (RAC) が指定されており、日本ではNPECが特殊モニタリング・沿岸環境評価地域活動センター (CEARAC) に指定されている。

### (1) 地域活動センター (RAC) 事業 24,699 千円 (うち富山県5,000 千円、環境省 19,699 千円)

日本海及び黄海の海洋環境保全のため、環境省から業務を請け負うとともに富山県の支援を受け、次の事業を実施する。

#### ① NOWPAP 活動推進費

##### ア 日本海等の環境影響調査 14,699 千円 (環境省)

###### ・ NOWPAP富栄養化状況評価手順書による予備評価の実施

Global Eutrophication Watchにインプットするデータを拡張するため、アメリカ航空宇宙局 (NASA) が令和8年に運用停止を予定している「MODIS」と宇宙航空研究開発機構 (JAXA) の「SGLI」、欧州宇宙機関 (ESA) の「OLCI」、NASAの「PACE」との連続性について評価し、長期間のモニタリングが可能なデータセットを作成する。

###### ・ 富山湾海域モニタリング調査

上記の予備評価の精度向上のためにも、富山湾において現場測定データを収集する。また過去の現場測定データから作成したアルゴリズムを使用して、NOWPAP 海域の透明度マップの作成に向けた課題を整理する。

###### ・ リモートセンシングを活用した藻場マッピング

七尾湾において、水中ビデオカメラを用いた藻場の調査を行い、その調査結果を教師データとして、Seagrass Mapperを用いて衛星画像から藻場マッピングを行う。同時に、モバイル音響観測機器を用いた観測を行い、簡易な藻場調査手法の開発を行う。

###### ・ 海草藻場におけるブルーカーボン変化量の推計

七尾湾において、海草藻場面積の季節変動の把握とともに、ブルーカーボンの変化量の推計を行うケーススタディを継続実施する。

###### ・ 環日本海海洋環境検討委員会の開催

赤潮/有害藻類の異常繁殖 (HAB) をはじめ、リモートセンシング、富栄養化、生物多様性及び藻場マッピングの環日本海における海洋環境に係る課題、今後の活動の進め方等について助言を得るため、国内の専門家による環日本海海洋環境検討委員会を開催する。

開催回数：2回程度

開催地：東京都内

出席者：約20名

##### イ 環日本海海洋環境ウオッチ推進費 10,000 千円 (うち富山県5,000 千円、環境省 5,000 千円)

海洋環境に関する人工衛星データを収集及び解析するため、環境省が平成13年度に設置した「環日本海海洋環境ウオッチシステム」の維持管理をクラウド上で行うとともに、インターネット上で人工衛星による海洋環境データを取得し、画像化して公開する。また、藻場マッピングツール Seagrass Mapperの運用を通じて世界各地の藻場現場観測データを収集するとともに、現場観測データのアップロード機能の拡張を進め、世界的な規模で藻場のマッピングを展開する。

(2) 地域活動センター (RAC) の運営 10,000 千円

CEARACの活動を広く紹介して関係機関と連携すること等を目的に、CEARAC関連事業として次の事業を実施する。

① 会議費 5,000 千円

ア 会議への出席

各種の国際会議への参加

- ・ 北太平洋海洋科学機関 (PICES) 年次会合2025  
開催時期：令和7年11月  
開催地：横浜  
参加者：2名程度
- ・ Geo for Good summit 2025  
開催時期：令和7年9月  
開催地：米国  
参加者：2名程度
- ・ 第22回日韓／第13回アジア海色ワークショップ  
開催時期：令和7年12月  
開催地：韓国  
参加者：2名程度

イ CEARAC ウェブページの更新及び維持管理

CEARACの活動を広く紹介するため、ウェブページについて更新と保守管理を行う。

② 調査費 5,000 千円

ア 富栄養化調査

NOWPAP地域等の富栄養化状況評価を支援することを目的に、本活動に関する国内外の情報・資料を収集・整理する。

イ 海洋生物多様性調査

NOWPAP地域等で実施される海洋生物多様性保全のための活動を支援することを目的に、我が国の海域における「30by30目標」の達成に向けた海洋保護区の拡充及び日本版OECM（自然共生サイト）の認定等の取組みに関する情報・資料を収集・整理する。また、生物多様性に関するモニタリング技術として期待される環境RNAを含む環境DNA技術の国内における活用状況について把握する。

ウ 赤潮／HAB 調査

NOWPAP地域等の赤潮／HABに関する活動を支援することを目的に、赤潮の重点対象種に関するウェブサイトの開設準備として、コクロディニウムに加え、新たにカレニア・ミキモトイのほか、カレニア・セリフォルミスに関する国内外の情報・資料を収集・整理する。

エ リモートセンシング調査

NOWPAP地域等のリモートセンシングに関する活動を支援することを目的に、本活動に関する国内外の情報・資料を収集・整理する。

(3) RCU 連携費 1,000 千円

平成16年11月に設置されたRCU富山事務所を支援する。